

二中コミュニティ・スクールだより

～市川市立第二中学校学校運営協議会～
「夢・命・絆」

令和7年度第1号
(通算第26号)
会長 小林 俊之
(文責 野手 裕之)

「令和7年度第1回学校運営協議会」報告

令和7年6月2日（月）
に、令和7年度第1回学校運営協議会が、第二中学校多目的室において委員9名の出席のもとで開催されました。

次第

1. 校長あいさつ
2. 委員の任命、自己紹介、会長・副会長選出
3. 協議
 - (1) 令和7年度学校運営についての基本方針の承認及び意見
4. 報告および意見交換
 - (1) 教育活動及び学校の様子
5. その他

1. 校長あいさつ

協議に先立ち、藤井校長から、「4月から着任した藤井です。日頃より、委員の皆様には、学校経営と教育活動に対しましてご理解いただき、ありがとうございます。本日は、第1回目ですが、本年度は5回の開催を予定しております。学校運営協議会におきまして、忌憚のないご意見をお伺いしたいと思っております。なお、本年度は、生徒675名（20学級）、教職員は53名でスタートしております。教職員一同、子どもたちのために全力を尽くしたいと思いますので、どうぞよろしくお願ひいたします。」といった、あいさつがありました。

2. 委員の任命ならびに会長・副会長の選出

市川市立第二中学校学校運営協議会委員

小林 俊之	真間南部自治会会長
松藤 恒夫	須和田第三自治会会長
関根 功子	民生委員・児童委員
斎藤 康	市川市立第二中学校同窓会会長
野口 淳	二中PTA会長
相澤 智子	二中PTA副会長
野手 裕之	地域学校協働活動推進員
新部 操	前市川市立第四中学校校長
久保田 哲也	千葉県立市川昂高校教頭
藤井 義康	二中校長
大林 大介	二中教頭
井上 智史	二中教務主任

令和7年度学校運営協議会委員として、左記12名が任命され、市川市教育委員会（学校地域連携推進課）から、辞令が交付されました。



その後、学校地域連携推進課から学校運営協議会についての説明がありました（概要は4頁参照）。



各委員の自己紹介の後に、会長と副会長の選出があり、会長に小林氏、副会長に新部氏が選出されました。

小林会長から、「引き続き、会長を引き受けることになりましたので、よろしくお願ひいたします。先ほどまで、民生委員・児童委員総会がありまして、そこで、教育長と学校運営協議会や地域学校協働活動についてお話しする機会があり、その会話の中で、改めて、これらの仕組みを通じて、子どもたちの成長をサポートしていきたいと考えておりますので、熟議を重ねながら、二中生を支えていけるように、今後ともご協力のほど、よろしくお願ひいたします。」といった、あいさつがありました。



また、新部副会長から、「以前、二中において、また、昨年度、初任者指導で二中において、生徒たちの活動は活発で、先生たちのコミュニケーション能力も高くて、本当に活気のある学校だと感じており、さらに活性化していくって欲しいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。」といった、あいさつがありました。

3. 協議

令和7年度第1回の学校運営協議会のため、「学校運営（経営）の基本方針」について、協議を行いました。まず、藤井校長から、令和6年度第5回学校運営協議会において承認されました内容に基づいた説明があり、委員からの若干の確認はありましたが、全会一致で承認されました。内容は以下のとおりです。

（1）学校教育目標を実現する生徒像・学校像（目指す学校像）



目指す生徒像

目指す学校像（経営重点）

夢 夢に向かっていく生徒

夢の実現への力を育む学校

命 命を大切にする生徒

命を大切にする心を育む学校

絆 絆を互いに深め合う生徒

生徒、教職員、保護者、地域住民が
信頼の絆で結ばれるチーム学校

(2) 目指す学校像を実現するための具体的な取り組み

① 令和7年度の目指す方向

生徒の主体的な学び、主体的な活動を推進する方策の充実と協働

② 夢の実現への力を育む学校

◆ 確かな学力

- ・ 個別最適な学びと協働的な学びの充実…指導の個別化（特性や学習進度に応じた指導）と学習の個別化（一人一人に応じた学習活動の提供）の推進し、また、他者の価値や考え方を尊重して、自分の良さや可能性を認識するシチュエーションの創出
- ・ 自分で考えて行動する力の育成…課題解決学習やキャリア教育を軸とした総合学習などによる探求的な学びの推進、手帳の活用などを通じた生活や学習への計画的な取り組みができる力の育成
- ・ 日常的な学習習慣の定着…単元や内容のまとまりごとの適切な学習評価による指導方法・学習方法の継続的な最適化

③ 命を大切にする心を育む学校

◆ 豊かな心

- ・ 自己肯定感・自己有用感の向上…生徒の主体的な活動の推進と自己決定の場面の積極的な創出
- ・ よりよく生きるための基盤となる道徳性の涵養…全教育活動を通じた道徳教育、いじめ防止教育の推進
- ・ 多様な状況にある生徒への丁寧で適切な支援…教育相談体制・適応支援体制・特別支援体制の充実、緩やかなグループ担任制の継続
◆ 健やかな体
- ・ 規則正しい生活習慣の確立…生徒自ら進める生活習慣の改善
- ・ 健康教育の推進…食育・がん教育・安全防災教育の推進、基礎体力向上のための効果的な取り組みの追求

④ 生徒、教職員、保護者、地域住民が信頼の絆で結ばれるチーム学校

◆ 信頼される学校

- ・ 情報発信と情報共有の一層の充実
- ・ 課題解決に向けて共同的に取り組む組織と学校組織マネジメントの確立
◆ 絆を互いに深め合う生徒
- ・ 多様性を認め、尊重しあう意識の確立

4. 報告及び意見交換

(1) 教育活動及び学校の様子について

令和7年度の教育活動に関して、大林教頭から報告がありました。

まずは、3年生が修学旅行に無事に行けました。実施に向けて保護者とも相談をして進めてまいりました。子どもたちからは、楽しかったという声をたくさん聞くことができました。

また、子どもたちは様々な活動に取り組んでいますが、特に6月9日に開催を予定している体育祭に向けて練習をしています。子ども達の方で主体的に実施できるように教職員でサポートしています。



オープンスクールの際の3年生の授業（ENAGEEDの様子）

令和7年度地域学校協働活動推進員講座について

今年度も、地域学校協働活動として授業外学習プログラムの提供【「夢・命・絆」プロジェクト】を予定しています。昨年度は、予定しながら実施できなかったものもありますが、実現できるように努力したいです

昨年度も「命の講座」として開催しました
「ＰＵＳＨコース（救急救命講習）」と「折
れない心を育てる　いのちの授業」を7月
に実施します。

「PUSHコース（救急救命講習）」（協力：認定インストラクター）を7月2日（水）15時30分～14時30分に開催します。

また、「折れない心を育てる いのちの授業」(協力:一般社団法人エンドオブライフ・ケア協会)を7月16日(水)に開催します。

詳しくは、すでに配布しております案内をご覧ください。以下のQRコードから案内をご覧いただけます（QRコードにリンクがはってあります）。



市川版コミュニティ・スクールについて

今回の学校運営協議会において、学校地域連携推進課から、改めて、学校運営協議会について説明がありました。すでに、「コミスクだより」でもご案内しておりますが、改めて、簡単に紹介します。

中央教育審議会は、これまで、「新しい時代を切り拓く生涯学習の振興方策について」(平成20年2月)、「チームとしての学校の在り方と今後の改善方策について」(平成27年12月)、「新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた学校と地域の連携・協働の在り方と今後の推進方策について」(平成27年12月)、「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について」(平成28年12月21日)などの答申において、学校・家庭・地域の協働の必要性(学校運営協議会制度の導入の推進など)を強調してきました。

そして、市川市においては、「すべては子どもたちのために」、そして、「子どもは地域の宝、地域みんなで育てよう」という志向のもとで、【地域と学校をつなぎ、みんなで子どもを育てる学校と地域の連携体制】として「コミュニティ・スクール（学校運営協議会＋地域学校協働本部）」を、令和元年度までに市内すべての市立学校・幼稚園で導入しました。

それは、「目指す子どもの姿」を共有し、課題に対して、さまざまな立場から、熟議し、協働することで、子どもたちをみんなで育てていくための仕組みになります。

市川市 P T A 連絡協議会の 取り組みの紹介

市川市PTA連絡協議会では、「すべては子どもたちのために」を合言葉に、特に、子どもの安全対策に注力してきました（「かけこみ110番」の作成など）。

この度、市川市と協力して、安全ステッカーを作成し、現在、公用車などに貼っていただいております。



今後は、事業者の協力を得るなど、市内全体で子どもたちの安全対策（見守り活動）を推進していく予定です。